

Neues in Nara

Nr.62

2018年1月26日



Japanisch-Deutsche Gesellschaft Nara (JDG-Nara)

奈良日独協会 (会長 河野良文) 奈良市大安寺 2-18-1 大安寺内

Tel/0742-61-6312, Fax/0742-61-0473

<http://www.daianji.or.jp/jdgn/index.html>

編集委員：林 (hayashiy@zeus.eonet.ne.jp)、峯本 (hmine-24@m3.kcn.ne.jp)

編集委員より：会員の皆様からの積極的なご投稿をお待ちしています！

●行事予定

第18回シュタムティッシュ

2月4日(日)15時より大安寺催事棟で、会員の土井ギーゼラさんに話題提供頂く予定です(詳細別途ご連絡します)。

●行事報告

1. クリスマス会

当会恒例のクリスマス会は、12月9日(土)17時より「ホテルアジュール奈良」にて開催、大阪神戸ドイツ総領事館司法修習生 Christian Nachtsheimさん初め30数名の参加を得て楽しいクリスマスの夕べとなった。会は河野会長の開会挨拶の後、会の設立に貢献された森本公三郎さんの乾杯で始まり、平尾英治さんのドイツ語・日本語交えての名物歌謡や、神戸からはるばる参加頂いた松田耕治さんのユーモアたっぷりのスピーチと、飛び入り続出で大変な賑わいを見せた。どこまでも盛り上がりが続くなか、名残りを惜しみつつ岡田由美子さんのピアノ演奏に乗せてドイツと日本の歌を全員で合唱してフィナーレを飾った。



2. 第17回シュタムティッシュ

11月12日(日)、大安寺催事棟にて16時から会員のWolfgang Hoehnさんから「シーボルトの子孫を訪ねて」と題して話題を提供頂き、日本の医学を初め、植物・動物・民俗・音楽など非常に多岐にわたる研究、コレクションで近代日本の発展に大きな影響を与えたシーボルト一族の系譜について大変興味深い話の数々を伺うことが出来た。

Hoehnさんご夫妻の貴重な写真、資料を交えてのお話に、あらためてシーボルトの世界に思いを馳せた一日でした。



(裏面の記事もご覧ください)

●会員だより

入江 雄一郎さんから

「ドイツの企業への転職でできたドイツとの関わり」

2017年度より入会いたしました入江雄一郎と申します。よろしくお願いたします。

50を前に仕事上の大きな転機があり、紆余曲折の末、転職の決断をいたしました。転職先はWürth Elektronik eiSos GmbH というドイツの会社です。



Waldenburg 城を望む



Waldenburg 城と私

ドイツとの関わりは、この転職がはじめての機会です。Würth Elektronik eiSos という会社はドイツの南部、Waldenburg というのどかな町にある電子部品を製造販売する会社です。日本以外にもヨーロッパを中心に世界中で事業を行っており同僚が世界中にいます。社内の公用語はドイツ語と英語で、ドイツ語のまったくわからない私でも英語で何とか仕事できています。

最近良く耳にする働き方改革で日本と対比されるドイツの働き方ですが、ドイツの全てを判断するわけではありませんが、確かに効率がいい、楽しく働いている、ということを感じます。大きな違いは、無駄な仕事をしていない、ということだと思います。

年に2回(6月、12月)のカンファレンスで本社のWaldenburg への出張があり、約1週間ドイツに滞在します。日本での仕事はその間に溜まり、帰国後はかなり忙しくなりますが、世界中に居る同僚達と顔を合わせて情報交換のできるいい機会になっています。

今までにドイツについて触れることがなく転職いたしましたもので、少しでもドイツに関して触れる機会を増やそうと思って入会いたしました。どうぞよろしくお願いいたします。



滞在先の Schwäbisch Hall

3. トリアー独日協会との交流

10月28日朝、トリアー日独協会より J.Aubart 団長以下10名の一行が JR 奈良駅に到着。当協会会員有志と奈良女子大学学生数名の協力を得て、奈良公園、東大寺を散策の後、同女子大教室で交流会を行った。交流会では、テノール歌手の T.Kiessling さんが声量たっぷりの歌を披露され、これに岡田由美子さんがソプラノの美声で応えて、友好ムードが盛り上がった。同大学千田先生のご助力に深謝申し上げます。



東大寺で記念撮影



テノール歌手 T.Kiessling さん



ソプラノ歌手 岡田由美子さん

●若手会員(JGN)からの活動報告

10月22日「大安寺国際縁日」 森田祥子
台風の接近による大雨のため、今年の大安寺国際縁日は中止となりました。しかし、中国や韓国からこられた方を対象に獅子吼殿にて切り絵と書道のワークショップが行われました。その片隅で、奈良日独協会若手の会 (JGN) はドイツゲームの体験コーナーを実施し、5人ほどドイツゲームの体験をしていただきました。簡単に、すぐに楽しめるドイツのゲームのよさを少しでも体験いただけたように思います。来年はもっとたくさんの方に参加いただき、ドイツの様々な魅力をお伝えしたいと思います。

